

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 37		街路樹維持管理事業				☐ 法定受託事務		
所管課	都市整備部 みどり公園課				評価者	みどり公園課長 池田 正			
一般	会計	款	45	項	20	目	5		
総合計画上の位置付け	分野名	道路整備			施策の方針名		道路・橋りょうの整備・維持管理		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。
効果	まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	街路樹愛護会等支援事業、大船駅東口花壇維持管理事業、街路樹維持管理事業	街路樹愛護会等支援事業、大船駅東口花壇維持管理事業、街路樹維持管理事業	街路樹愛護会等支援事業、大船駅東口花壇維持管理事業、街路樹維持管理事業
予算額（千円）	36,779	71,128	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	36,779	71,128	0
当初人員配置数	1.2	1.2	0.0
人件費（千円）	0	0	0
事業実績	街路樹愛護会等支援事業、大船駅東口花壇維持管理事業、街路樹維持管理事業		
決算額（千円）	29,433		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	29,433	0	0
人員配置実績数	1.2	0.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	各年度に必要な高木剪定及び除草路線に対する実施割合	%		0	85.1		
	実績につながる活動	緑豊かな道路空間を形成し、まち並みを整えるため、街路樹の剪定及び刈込等の維持管理を行った。				15,286		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	高木の放置はリスクが高いことから、そのリスクを少しでも排除するために実施した剪定等により、被害の未然防止につながったと考えている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No （最大3つ）
成1	街路樹に関する要望件数	件		↓	38			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	急激な物価上昇
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	急激な物価上昇により、予定していた高木剪定路線の一部の実施が困難となった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	活動結果（アウトプット）指標の実績が目標値を下回ったが、高木の放置はリスクが高いことから、そのリスクを少しでも排除するため、あらかじめ剪定等を行うことにより、被害の未然防止につながると考えている。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効 率 性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
公 平 性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない	
方向性		評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性	
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する →	事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	
今後の取組方針（見直し方針）		課題への対応	結果	具体的な内容	
		前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
		活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
		新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	街路樹の剪定等の管理作業を行うことで樹木の健全な育成を図り、潤いのある道路空間と公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成に寄与した。			
				上位施策への寄与度	
				A	

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	街路樹の樹種、樹齢、本数等が自治体ごとに異なるため、維持管理水準やコスト等の単純比較により事業の妥当性を判断することは困難であると考えている。
----------------------	---